

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 11 月 4 日(2022.11.4)

【公開番号】特開 2022-145966(P2022-145966A)

【公開日】令和 4 年 10 月 4 日(2022.10.4)

【年通号数】公開公報(特許)2022-182

【出願番号】特願 2022-129327(P2022-129327)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 26 日(2022.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

調節式眼内レンズアセンブリであって、

光学軸を有する調節式レンズを有する基部であって、前記調節式レンズは、前記光学軸に非平行な方向の前記基部に対する半径方向の力に反応して前記光学軸に沿って光学度数を変化させるように構成されている、基部と、

前記基部に取り外し可能に結合するように構成された交換可能な非調節式レンズであって、前記非調節式レンズは、前記非調節式レンズが前記基部に結合されるときに、前記調節式レンズの前方に位置付けられる、非調節式レンズと
を備えるアセンブリ。

30

【請求項 2】

非調節式レンズは、前記非調節式レンズが前記基部に結合されるときに、前記光学軸に沿って前記調節式レンズと整合する、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

前記光学軸に平行な方向の前記調節式レンズの厚さは、前記光学軸に非平行な方向の前記基部に対する半径方向の力に反応して変化する、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記基部は、前記非調節式レンズが前記基部に結合されるときに前記非調節式レンズの少なくとも一部を受け取るように構成された溝を含む、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記基部は、前記調節式レンズに接続された触覚部を含み、前記触覚部は、前記調節式レンズが光学度数を変化させることをもたらす半径方向の力を受けるように構成されている、請求項 1 に記載のアセンブリ。

40

【請求項 6】

前記触覚部は、環状ベローズであり、前記環状ベローズは、半径方向の圧縮力が前記ベローズに印加されるときに流体を前記調節式レンズ内に押すように構成されている、請求項 5 に記載のアセンブリ。

【請求項 7】

前記調節式レンズは、1 つ以上の開口部を有する半径方向外壁を含む、請求項 1 に記載のアセンブリ。

50

【請求項 8】

前記基部は、前記 1 つ以上の開口部を介して前記調節式レンズと流体連通している触覚貯蔵部を含む、請求項 7 に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

前記光学軸に垂直に測定されたときの前記調節式レンズの幅は、前記調節式レンズが光学度数を変化させるときに実質的に一定のままである、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 10】

前記非調節式レンズは、前記基部が個人の眼の本来の眼の嚢に移植されるときに前記基部に結合および前記基部から結合解除するように構成されている、請求項 1 に記載のアセンブリ。

10

【請求項 11】

調節式眼内レンズアセンブリであって、

光学軸を有する流体レンズを有する基部であって、前記流体レンズは、前記光学軸に非平行な方向の前記基部に対する半径方向の力に反応して前記光学軸に沿って光学度数を変化させるように構成されている、基部と、

前記基部に取り外し可能に結合するように構成された交換可能な非調節式レンズであって、前記非調節式レンズは、前記非調節式レンズが前記基部に結合されるときに、前記流体レンズの前方に位置付けられる、非調節式レンズと

を備えるアセンブリ。

20

【請求項 12】

前記基部は、前記流体レンズに接続された環状触覚構造を含み、前記環状触覚構造は、前記流体レンズと流体連通している流体貯蔵部を含み、前記環状触覚構造は、前記半径方向の力が前記基部に印加されるときに流体を前記流体レンズ内に移動させるように構成されている、請求項 11 に記載のアセンブリ。

【請求項 13】

前記基部は、前記流体レンズと前記環状触覚構造との間に環状壁を含み、前記環状壁は、流体が前記流体貯蔵部と前記流体レンズとの間を通過することを可能にするように構成された 1 つ以上の開口部を含む、請求項 12 に記載のアセンブリ。

【請求項 14】

前記流体レンズは、シリコンオイルを含む、請求項 11 に記載のアセンブリ。

30

【請求項 15】

前記流体レンズの体積は、前記基部に対する前記半径方向の力に反応して増加する、請求項 11 に記載のアセンブリ。

【請求項 16】

前記光学軸に平行に測定されたときの前記非調節式レンズの厚さは、前記半径方向の力が前記基部に印加されたときに実質的に一定のままである、請求項 11 に記載のアセンブリ。

【請求項 17】

調節式眼内レンズアセンブリであって、

基部であって、前記基部は、第 1 の光学構成要素と、前記基部の光学軸に沿って前記第 1 の光学構成要素から離間された第 2 の光学構成要素とを有し、前記第 1 および第 2 の光学構成要素は、前記光学軸に非平行な方向の前記基部に対する半径方向の力に反応して、前記光学軸に沿って相互に対して移動するように構成されている、基部と、

前記基部に取り外し可能に結合されるように構成された交換可能な固定力レンズであって、前記固定力レンズは、前記固定力レンズが前記基部に結合されるときに、前記基部の前方に位置付けられる、固定力レンズと

を備えるアセンブリ。

40

【請求項 18】

前記基部は、前記第 1 および第 2 の光学構成要素の外縁に環状外壁を含み、前記外壁は、前記第 1 および第 2 の光学構成要素のうち的一方または両方によって形成され、前記外壁

50

は、１つ以上の開口部を含む、請求項１７に記載のアセンブリ。

【請求項１９】

前記基部は、前記第１および第２の光学構成要素のうち的一方または両方を少なくとも部分的に取り囲む触覚体積を含み、前記触覚体積は、前記第１の光学構成要素と前記第２の光学構成要素との間の空間と流体連通している、請求項１８に記載のアセンブリ。

【請求項２０】

前記基部は、前記第１の光学構成要素と前記第２の光学構成要素との間の光学チャンバを含み、前記光学チャンバは、前記第１および第２の光学構成要素が相互に対して移動するときに形状を変化させるように構成されている、請求項１７に記載のアセンブリ。

10

20

30

40

50